

顧問先向け 記帳代行用ツール簡易手順書

2024年2月

弥生株式会社
営業推進部

目次

1. 記帳代行用ツールとは
2. 「スマート証憑管理」とは
3. 「スマート証憑管理」利用のメリット
4. 「記帳代行用ツール（口座連携）」とは
5. 「記帳代行用ツール（口座連携）」利用のメリット
6. 記帳代行用ツール利用の承諾手順

<「記帳代行用ツール（口座連携）」を利用する場合のみ>

7. 金融機関の登録
8. 参考情報

記帳代行用ツールとは

- 記帳代行業務を行う会計事務所と顧問先が連携をすることで、仕訳入力に必要なデータの取得や情報の共有を行えるようにするためのツールです。
- 設定すると以下のサービスが利用できます。

①

「スマート証憑管理」の利用

②

金融機関等の明細自動取得
「記帳代行用ツール（口座連携）」の利用

「スマート証憑管理」とは

- 「スマート証憑管理」は、領収書・請求書・納品書・見積書などの証憑を保存・管理できるサービスです。
- AI-OCRによる文字情報の自動読み取りや、インボイス制度における適格請求書の適正性判定などの機能があります。（顧問先が直接スマート証憑管理へ証憑をアップロードする場合に利用可能）



「スマート証憑管理」利用のメリット

- ✓ 弥生製品を導入していなくてもご利用可能です
- ✓ 顧問先が直接証憑をアップロードできます
- ✓ 会計事務所がアップロードした証憑を顧問先が検索・閲覧することができます
- ✓ 電子帳簿保存法の要件に則った証憑の管理ができます

「記帳代行用ツール（口座連携）」とは

- インターネットバンキング等と連携することによって、明細・取引の内容を直接会計事務所にデータ送付できるサービスです

いままで



預金通帳コピー 領収書
クレジットカード 受領請求書
ドの利用明細



会計事務所

これから



記帳代行用ツール
(口座連携)

「記帳代行用ツール（口座連携）」
の利用

明細自動取得



会計事務所

「記帳代行用ツール（口座連携）」利用のメリット

- ✓ 弥生製品を導入していなくてもご利用可能です
- ✓ 書類の郵送にかかる料金・時間が節約できます
- ✓ 郵便物の紛失リスクも回避できます
- ✓ リアルタイムでデータが送られるため、受取確認の手間なし
- ✓ データ連携設定は原則ブラウザ上で完結。インストールの必要なし*

*一部金融機関はインストール版のみ提供しており、その際は「弥生口座自動連携ツール」のインストールやアップデートが必要です

記帳代行用ツール利用の承諾手順

記帳代行用ツール利用の承諾

The screenshot shows a login page titled "ログイン". It contains a text input field for "弥生ID (メールアドレス)" and a blue button labeled "次へ". A red dashed box highlights these two elements. Below this is a section for "はじめてご利用のお客さま" with a red circle containing the number 3, and an orange button labeled "弥生ID新規登録". At the bottom, there is a link "弥生IDについてはこちら".



The screenshot shows a registration page titled "弥生ID新規登録". It includes a link "すでに弥生IDをお持ちの方はこちら" with a red circle containing the number 4. The registration form fields are: "姓" (Last Name), "名" (First Name), "メールアドレス (弥生ID)" (Email Address (Yayoi ID)), "メールアドレス (確認用)" (Email Address (Confirmation)), "パスワード (半角英数字6~12文字まで、大文字小文字は区別されます。)" (Password (6-12 alphanumeric characters, case sensitive)), and "パスワード (確認用)" (Password (Confirmation)). A red box highlights the entire registration form area.

ログイン画面が表示されたら、
③弥生ID新規登録をクリック

※既に弥生IDをお持ちの場合は、「ログイン」画面からお持ちの弥生IDを入力してログインし、手順⑧へ進んでください

④弥生IDを登録

登録すると確認コードを入力する画面が表示され、同時に登録した弥生IDへ「【弥生】確認コードのお知らせ」のメールが送信されます

記帳代行用ツール利用の承諾

弥生ID新規登録

メールアドレス(※ 宛先)へ届いた確認コードを入力してください。

XXXXXX

確認コードが届かない場合は、以下が考えられます。

- ・送信センターの混雑により、遅延が発生している
- ・迷惑メール設定などで受信を制限している
- ・送信先を誤って入力している

確認する

[弥生ID新規登録へ戻る](#)

⑤ 「確認コードのお知らせ」メールで通知された確認コードを入力

<確認コードのお知らせメール>

【弥生】確認コードのお知らせ 受信トレイ



弥生株式会社

To

XXXXXXXX

確認コードは「XXXXXXXX」です(有効期限:10分)。他の人には教えないでください。

XXXXXXXX

返信

全員に返信

転送

⑥ 確認する をクリック

弥生ID新規登録

弥生IDの登録が完了しました。

サービスの利用へ進む

⑦ 「弥生IDの登録が完了しました」と表示されたら
サービスの利用へ進む をクリック

記帳代行用ツール利用の承諾

ログイン

弥生ID（メールアドレス）を入力して「次へ」ボタンをクリックしてください。

弥生ID（メールアドレス）

次へ

はじめてご利用のお客さま

弥生ID新規登録

弥生IDについてはこちら



事業者（事業グループ）情報登録

事業者情報登録の為に必要な情報を入力してください。

会社情報

事業形態
選択してください。

会社・個人事業者名

会社・個人事業者名（カナ）

郵便番号

再度ログイン画面が表示されたら、
⑧手順④で登録した弥生IDとパスワードでログイン

⑨事業者（事業グループ）の情報を
入力し、登録

記帳代行用ツール利用の承諾

記帳代行用ツール利用の承諾

依頼者情報

依頼者名 △△会計事務所

住所 東京都千代田区 神田樹屋町

電話番号 03-XXXX-XXXX

依頼者メッセージ

よろしくお願ひします

記帳代行用ツールの利用

利用する

メッセージ

入力されたメッセージはありません

10

確定する

前の画面に戻る

⑩確定する をクリック

● 記帳代行用ツールの利用を承諾しました

△△会計事務所様へ記帳代行用ツールの利用の承諾メールをXXXX年XX月XX日(月) 11時03分 頃に送信しました。

記帳代行用ツールは、左のメニュー、またはホーム画面から起動することができます。

会計事務所等管理

会計事務所（または青色申告会、商工会など）と協力して製品・サービスを利用する場合は、「 」をクリックして「製品・サービスの連携を設定する」をクリックしてください。

登録済み製品一覧を表示する **11**

△△会計事務所 次の製品・サービスを連携しています。

専生会計

会計事務所等管理の画面が表示されたら、

⑪依頼元の会計事務所名が表示されていることを確認

記帳代行用ツール利用の承諾



⑫ ホーム をクリック

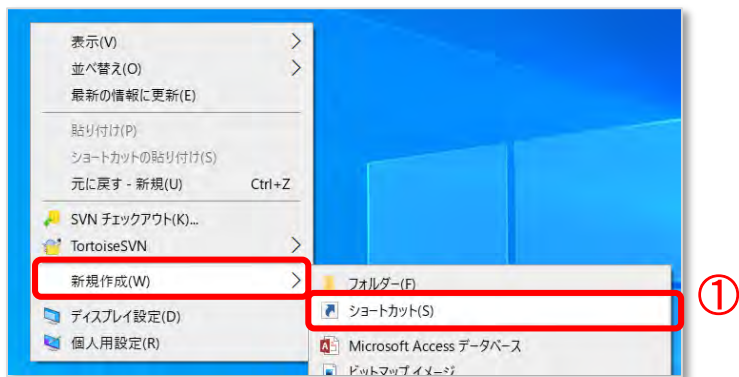
⑬ 「お使いの製品」に「スマート証憑管理」と「記帳代行用ツール（口座連携）」が表示されていることを確認

※スマート証憑管理を起動する場合は、スマート証憑管理の「製品を起動する」ボタンをクリックします。



(参考) マイポータルへのショートカットアイコンを作成

- 手続きが完了したら、次回起動用にデスクトップにショートカットアイコンを作成しておくことをお勧めします。



<ショートカット作成手順>

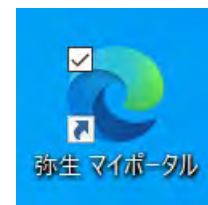
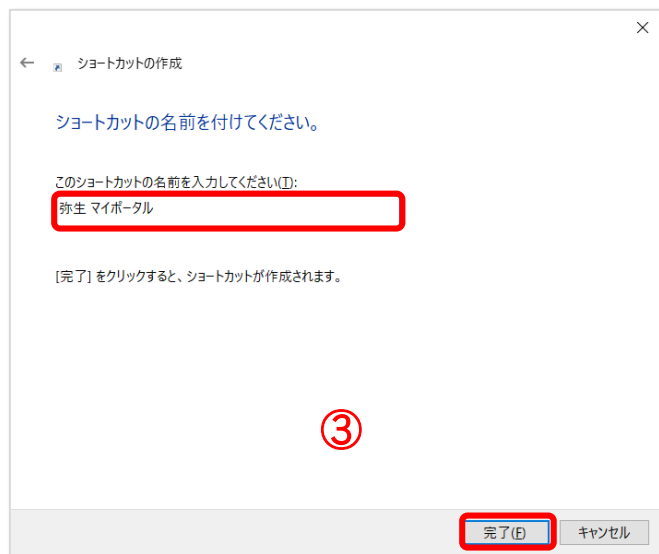
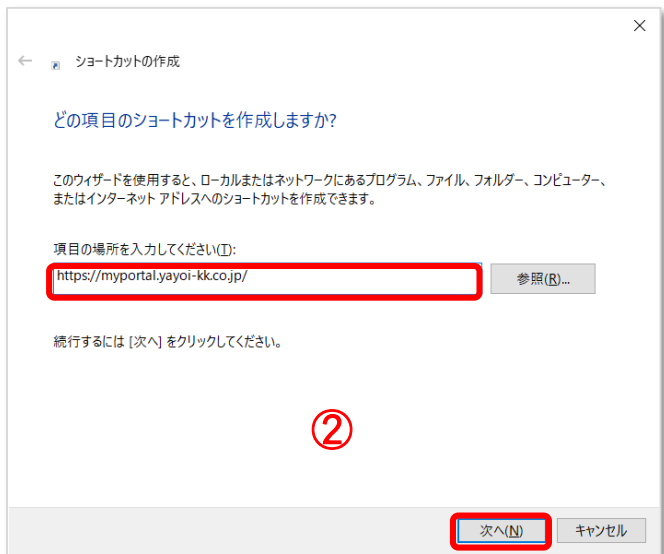
デスクトップ上で右クリックして表示されたメニューから

① **新規作成** の **ショートカット** をクリック

② 以下のURLを指定して **次へ** をクリック

URL: <https://myportal.yayoi-kk.co.jp/>

③ わかりやすい名前をつけて **完了** をクリック



(参考) スマート証憑管理の使い方について

- スマート証憑管理の操作については、以下をご参照ください。

スマート証憑管理の利用の流れ

https://support.yayoi-kk.co.jp/subcontents.html?page_id=26950

※ どこまでを顧問先様が行うかは、会計事務所とご相談ください。

『スマート証憑管理』のみ使用する場合は、13ページまでの設定でご利用いただけます。
「記帳代行用ツール（口座連携）」（金融機関等の明細自動取得）を利用する場合のみ、
以下の設定を追加で行ってください。

＜「記帳代行用ツール（口座連携）」を利用する場合のみ＞ 金融機関等の登録

- ◆ その他サービスの自動連携は設定が異なります
- ◆ 連携するサービスが提供する設定手順をご確認ください

事前準備

■ ログインIDの権限確認

- ◆ 金融機関のインターネットサービスにログインし、各口座の残高と入出金明細が閲覧できることをご確認ください

■ 法人口座をご利用の場合

- ◆ 電子証明書を利用してログインする金融機関の場合は、事前に電子証明書をコンピューターにインストールしてください
- ◆ 金融機関の登録や利用明細の取得は電子証明書が入っているコンピューターから行う必要があります

■ 事前申込が必要な金融機関

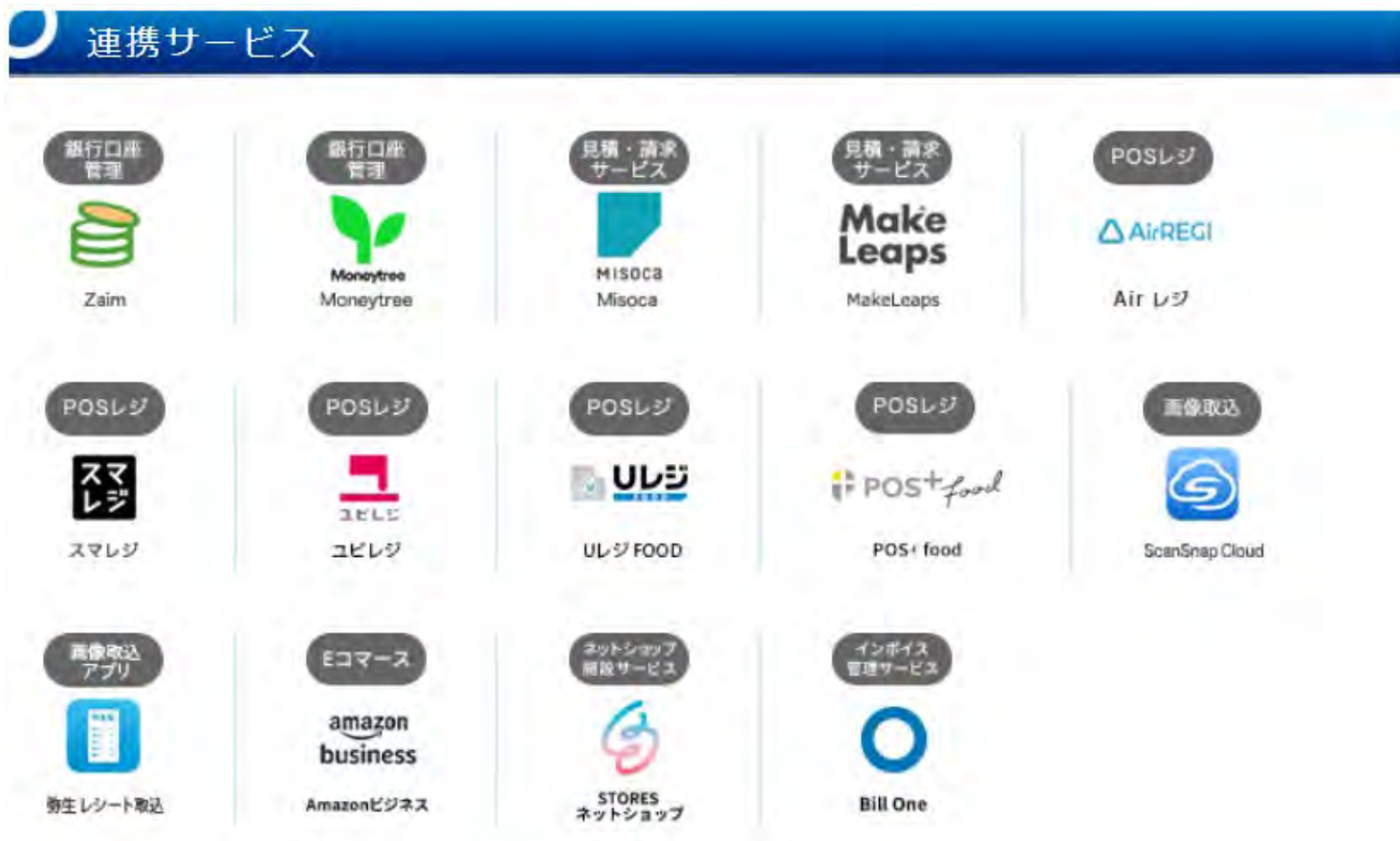
- ◆ 事前に権限設定や、各種IDなどのお申し込みが必要な金融機関があります
- ◆ 詳細は弥生FAQ「[金融機関と連携するための準備](#)」をご確認ください

(参考) 対応金融機関

- データ連携できる金融機関は、全国1,100件以上。連携可能な金融機関のサービスは2,500件以上（2023年7月時点）
- API自動連携により、より安全に取引明細を自動取得できます
- 対応金融機関は弥生のホームページでご確認ください

(参考) 対応サービス

- 請求書作成、銀行口座管理、POS レジなどのデータ連携が可能です



※ 「Misoca」は弥生（株）が提供しているサービスです。他のサービスの詳細は、各提供会社へお問い合わせください

金融機関の登録



①ホームをクリック

②お使いの製品一覧に、記帳代行用ツール（口座連携）が表示されていることを確認

③製品を起動する をクリック



④連携先を追加する をクリック

金融機関の登録



⑤ 口座連携の **連携する** をクリック



⑥ ログイン画面へ をクリック

金融機関の登録

弥生シリーズ ログイン画面

⑦

XXXXXXXXXXXXXXXX@gmail.com

.....

パスワードを表示

ログイン

[パスワードを忘れたら](#) [アカウントを作成](#)



外部サービス連携確認画面

口座連携の設定と弥生シリーズとの連携を許可しますか？

口座連携の設定

このサービスと連携すると、次の操作が許可されます。

- ・「[口座連携の設定](#)」に対して、名前とメールアドレスを選択します
- ・「[口座連携の設定](#)」に対して、会社名を選択します
- ・弥生シリーズで「[口座連携の設定](#)」で入力した取引先情報が取り込まれます

なお、取引先一覧以外の取り込みはされません。

口座連携の設定との連携により、弥生シリーズのサービス利用に関して
弥生株式会社は、「[口座連携の設定](#)」の上記アクセスを用いて弥生株式会社は提供しているデータ連携サービス、スマートフォンアプリの運用
及びサービス改善・開発等のために利用します。

弥生シリーズ利用開始前の商品案内に、弥生株式会社は「[口座連携の設定](#)」で入力した「[口座連携の設定](#)」が弥生株式会社は提供している
サービスに関するお問い合わせ先へアクセス権を付与します。

キャンセル ⑧

⑦ 弥生IDとパスワードを入力して、
ログインをクリック

※P9で作成したもの

連携の許可について内容を確認し、

⑧ 同意の上連携する をクリック

金融機関の登録



⑨ 新規口座登録 をクリック



例) 三井住友銀行

⑩ カテゴリから探す を選択

⑪ 銀行 を選択

⑫ ミ をクリック

金融機関の登録



⑬三井住友銀行 を選択

⑭金融機関を選択して次へ をクリック



⑮インターネットバンキングにログインする方法を選択

金融機関の登録



⑩取得方式のボタンをクリック



金融機関によって、取得方式が複数表示される場合があります。
取得方式の違いは下表をご参照ください

取得方式	利用環境	特徴
【API連携】 クラウド版 [金融機関公式連携]	Windows Mac	<ul style="list-style-type: none"> 金融機関との公式連携のため、正確かつ安全に利用明細を取得可能です。 ログインIDやパスワードは、サーバー上に保存されません。 コンピューターを起動していなくても、利用明細を取得できます。
【スクレイピング】 クラウド版		<ul style="list-style-type: none"> ログインIDやパスワードは、サーバー上に保存されます。 コンピューターを起動していなくても、利用明細を取得できます。 電子証明書を利用する銀行口座は登録できません。
【スクレイピング】 インストール版	Windows	<ul style="list-style-type: none"> 「弥生口座自動連携ツール」のインストールやアップデートが必要です。 ログインIDやパスワードは、コンピューター上に保存されます。 コンピューターを交換した場合は再設定が必要です。 コンピューターが起動中のみ、利用明細を取得します。 電子証明書を利用する銀行口座が登録できます。

金融機関の登録



ヒント

ログイン情報を入力してください。

口座登録状況 : 金融機関選択 > ログイン情報登録 > 登録口座選択 > 完了

弥生銀行(サンプル)の口座を登録準備しましょう！
インターネットバンキングのログイン情報(ID、パスワード、契約者番号、確認番号、ワンタイムパスワード)はお持ちですか？

取得方式選択

[法人]弥生銀行(ID/PW)

•取得方式を選択してください。

クラウド版 →

インストール版 →

•必要なログイン情報

- ID
- パスワード

←戻る



上記のボタンが表示された場合は、スマート取引取込「弥生口座自動連携」設定ガイドをご参照ください。



上記のボタンが表示された場合は、次のページへお進みください



①⑦ 口座連携する をクリック



別ウィンドウに金融機関のサイトが表示されるので、画面の指示に従って入力します。

金融機関の登録



⑱スマート取引取込 を選択



⑲左の画面が表示されたら完了です。
※赤字のメッセージが表示されますが、会計事務所にて設定する内容ですので、操作の必要はありません。

そのままログアウトし、会計事務所へ設定が完了したことをお知らせください。



参考情報

- 設定におけるサポートについて
- セキュリティに関する説明

設定におけるサポートについて

- 弥生のカスタマーセンターにお問い合わせが可能です





インターネットバンキングとの直接連携が不安です

金融機関の情報ID/パスワードは暗号化して保存していますので、セキュリティに問題はございません。

API連携であれば、金融機関との公式連携のため、正確かつ安全に利用明細を取得可能です。より安心してサービスをご利用いただけます。

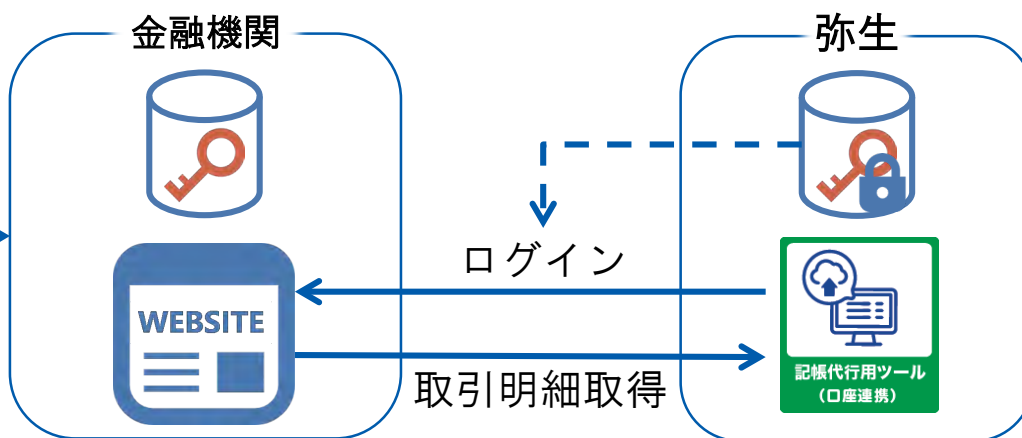


スクレイピング (クラウド版)

※金融機関のID/パスワードが会計事務所と弥生に伝わる事はございません



連携許可



API連携

※金融機関のID/パスワードが会計事務所と弥生に伝わる事はございません



連携許可

